



最近の新潟県内の経済情勢

令和2年8月4日


財務省関東財務局
新潟財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

問い合わせ先
関東財務局 新潟財務事務所 財務課
電話番号 025-281-7503 内線 2200、2231

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱含んでいる」









項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱含んでいる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）までの状況を含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症などの影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	
生産活動	緩やかに回復しつつあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では横ばいの状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
雇用情勢	改善の動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
設備投資	元年度は減少見込みとなっている	2年度は増加見込みとなっている	
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に引き続き十分注意する必要がある。

2. 各論

■ **個人消費** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」

コンビニエンスストア販売額、乗用車新車登録届出台数は前年を下回っているほか、宿泊や娯楽を中心に弱い動きとなっているものの、百貨店・スーパー販売額や家電大型専門店販売額、ドラッグストア

販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っており、個人消費は足下では下げ止まりの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 感染症の拡大による外出自粛により、巣ごもり需要が発生し、精肉、青果等の家庭内での調理向け食材が好調な動きで、売上は前年を大幅に上回っている。(百貨店・スーパー、大企業)
- 感染症の拡大により試乗会等のイベントを中止したことから来店客数が減少、メーカーの生産ストップにより納車が遅れたことから販売台数が大幅に減少した。(自動車販売、中堅企業)
- 感染リスク軽減のため、消費者はまとめ買い可能なスーパーに流れているうえ、外出自粛により主要顧客のサラリーマンや運送従事者による購買行動が鈍く来店客数、売上ともに全店舗で前年を割っている。(コンビニエンスストア、大企業)
- 感染症対策として、マスクやハンドソープ・消毒液等の衛生用品の売上が好調なほか常備薬にも動きがみられた。また、巣ごもり需要で食料品も堅調で、売上は前年同期を上回っている。(ドラッグストア、中小企業)
- 感染症の影響による外出自粛が続き、郊外型店舗を中心に来客数が急速に回復し、在宅勤務、自宅学習向けの情報機器、巣ごもり需要に対応した冷蔵庫、ゲーム機の動きが良く、売上は前年を上回っている。(家電量販店、中小企業)
- 感染症の影響により、団体客の宿泊の予約がなく個人客のみとなっている。また、週末の予約については県内及び県外ともに動きは出てきているが、平日の予約は前年を大幅に下回っている。(宿泊、中小企業)

■ **生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」**

鉱工業生産指数を業種別にみると、食料品は前期比で上昇しているものの、汎用・生産用・業務用機械、化学、金属製品、電気・情報通信機械などは前期比で低下しており、生産活動は弱含んでいる。

- 感染症による外出自粛で主力製品に巣ごもり需要が発生し、安定供給を確保するため生産増を優先した結果、総じて生産は前年を上回っている。(食料品、大企業)
- 感染症の影響により海外・国内とも企業の設備投資が見送られ、足下の生産は新規受注がなく一部ラインは稼働を休止しながら受注残分のみで対応しており、水準は前年の半分程度となっている。(生産用機械、中小企業)
- 航空機、自動車向けは感染症拡大対策による海外渡航・外出自粛によりメーカーの操業停止・縮小による受注減を受けて生産は低調な動きとなっている。(情報通信機械、大企業)
- 足下の受注は、主力の自動車部品が感染症の拡大により、海外の完成メーカーによる操業停止措置の影響を受けて急減し生産は低調に推移している。(輸送機械、大企業)

■ **雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」**

雇用情勢は、有効求人倍率及び新規求人数が低下しており、弱い動きとなっている。

- 全体的にパート中心に人手不足感は続いているものの、3月から営業時間短縮により人手不足緩和もあって、募集を抑制している。(小売業、中小企業)
- 部門ごとに過剰・不足が分かれてきているが、過剰な部門の人員を不足の部門で全て受け入れきれず、全社的に過剰となっている。(製造業、大企業)

■ **設備投資 「2年度は増加見込みとなっている」**

法人企業景気予測調査(2年4~6月期調査)で**2年度通期の設備投資計画**をみると、製造業は前年度比2.7%の減少見込み、非製造業は同18.9%の増加見込みとなっており、全産業では同7.7%の増加見込みとなっている。

■ **企業収益 「2年度は減益見込みとなっている」**

法人企業景気予測調査(2年4~6月期調査)で**2年度通期の経常利益**(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年度比3.8%の増益見込み、非製造業は同11.0%の減益見込みとなっており、全産業では同4.2%の減益見込みとなっている。

規模別にみると、大企業、中堅企業、中小企業いずれも減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」**

法人企業景気予測調査(2年4~6月期調査)の**景況判断BSI**をみると、全産業では「下降」超幅が拡大している。先行きについては、2年7~9月期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ **住宅建設 「前年を下回っている」**

新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を上回っているものの、持家、貸家は前年を下回っている。

■ **公共事業 「前年を下回っている」**

公共工事請負金額は、前年を下回っている。

発注者別にみると、国は前年を上回っているものの、独立行政法人等、県、市町村は前年を下回っている。

最近の新潟県内の経済情勢(令和2年7月判断)

(資 料)

目 次	(頁)
1. 個人消費	1~2
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	4
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	7
8. 公共事業	7
9. 企業倒産	8

令和2年8月4日

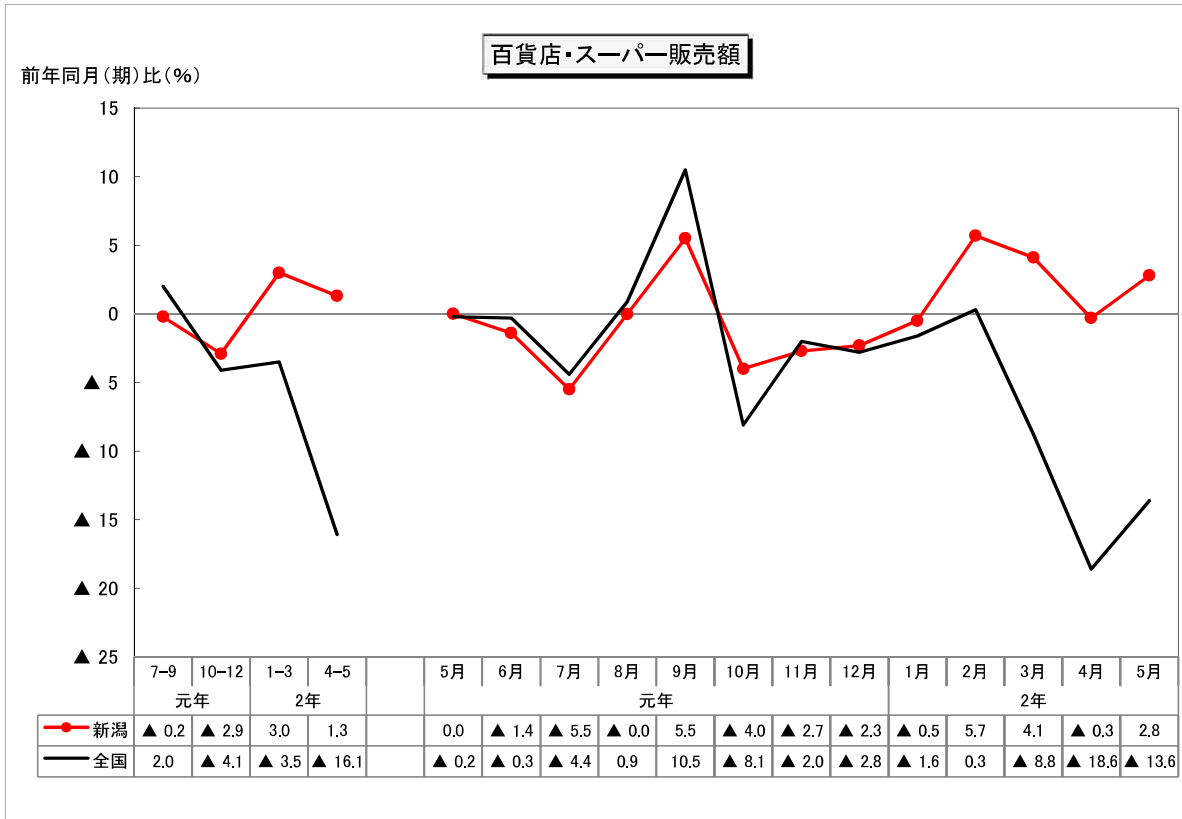
財務省関東財務局 新潟財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、
足下では下げ止まりの動きがみられる

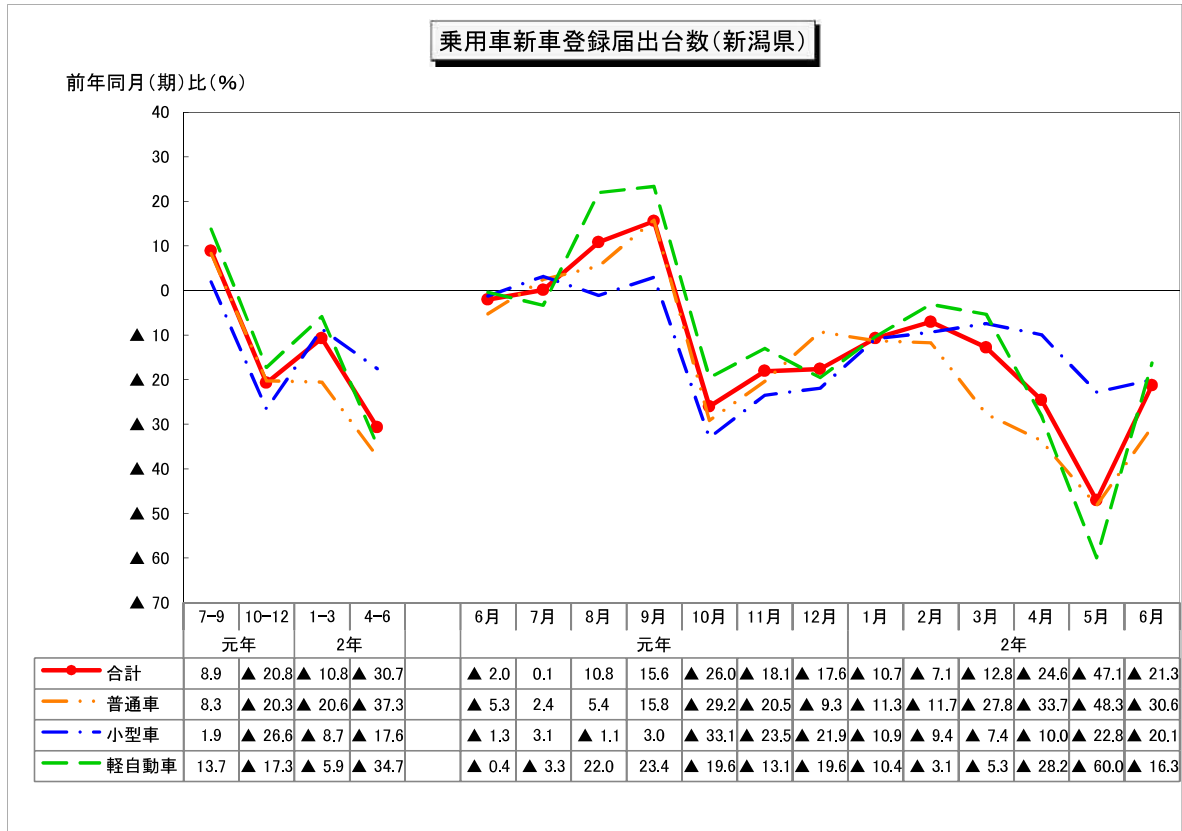
【グラフ1】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

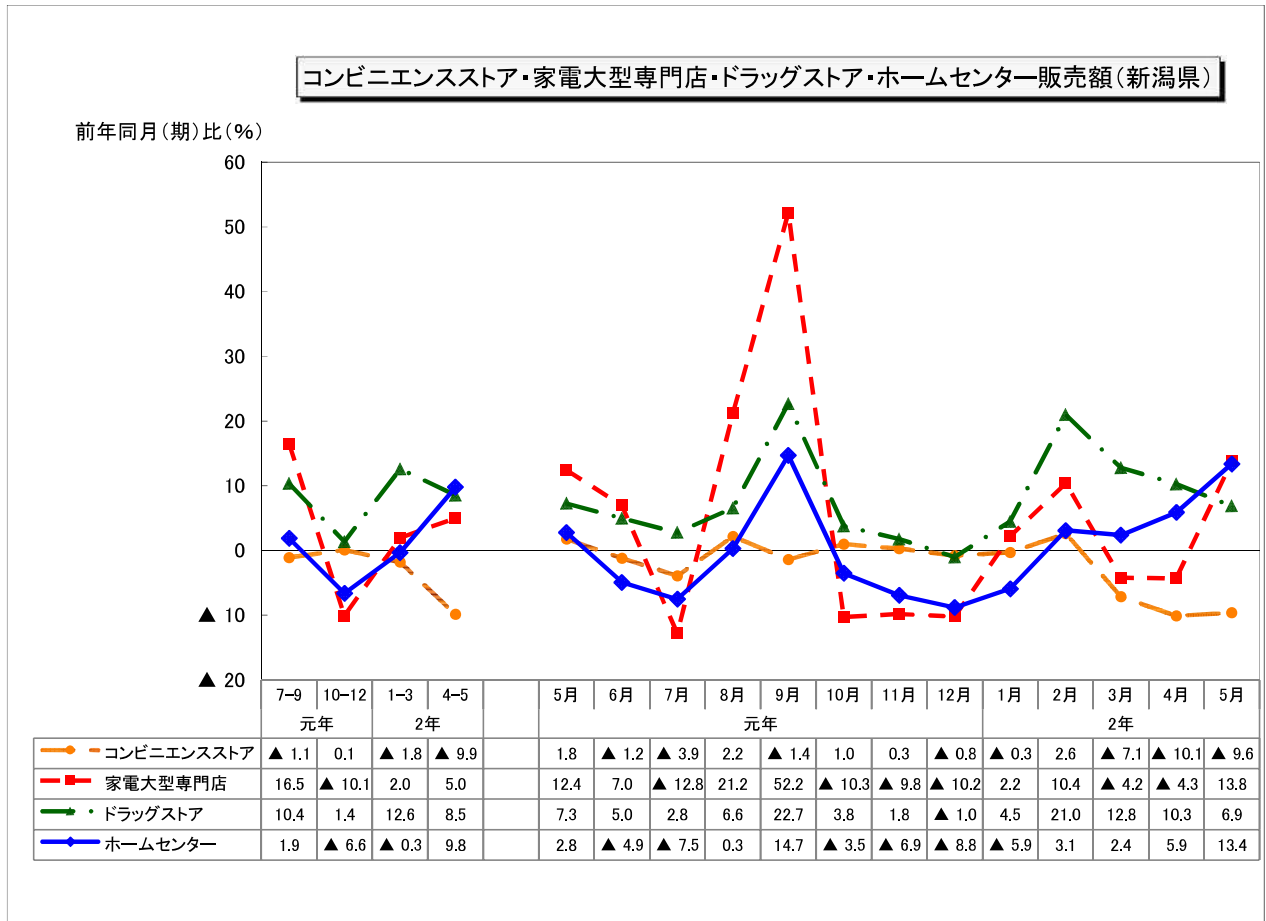
【経済産業省】

【グラフ2】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

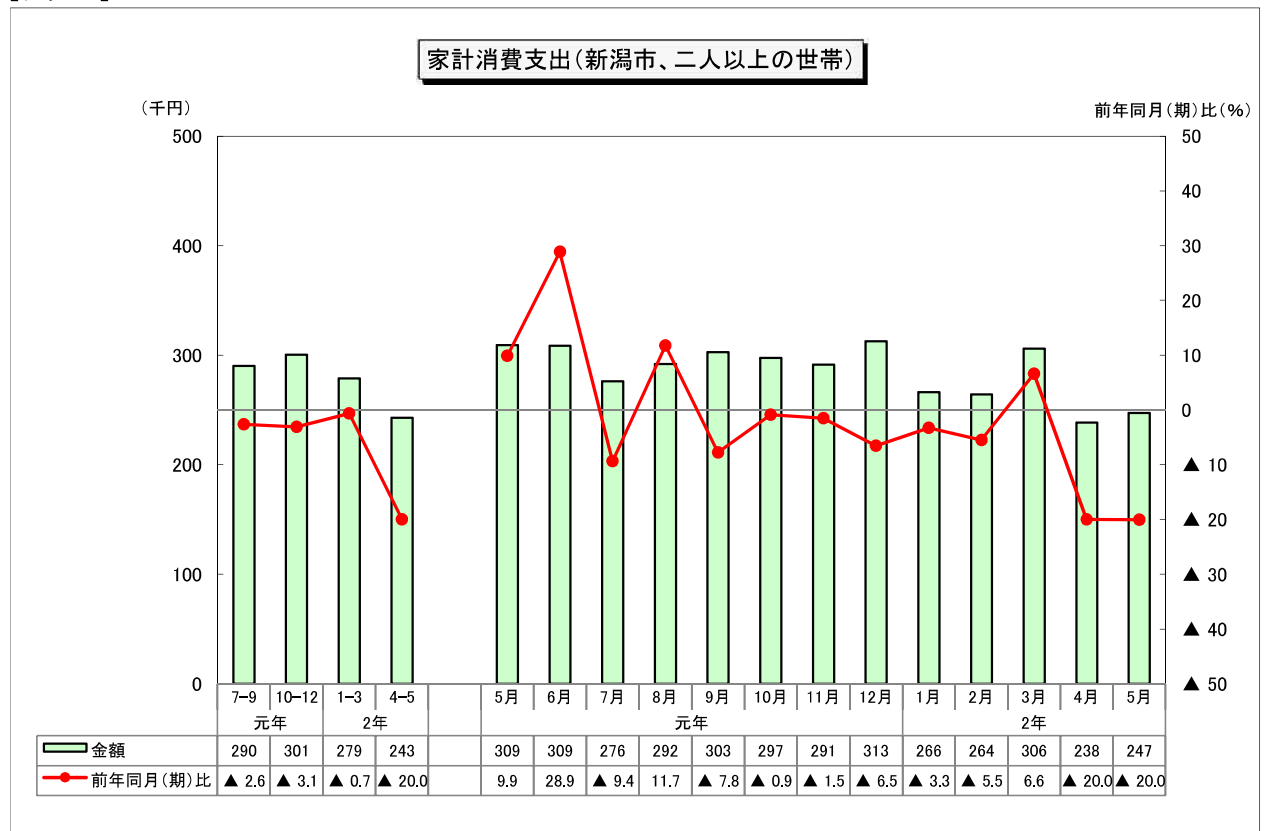
【グラフ3】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

【経済産業省】

【グラフ4】

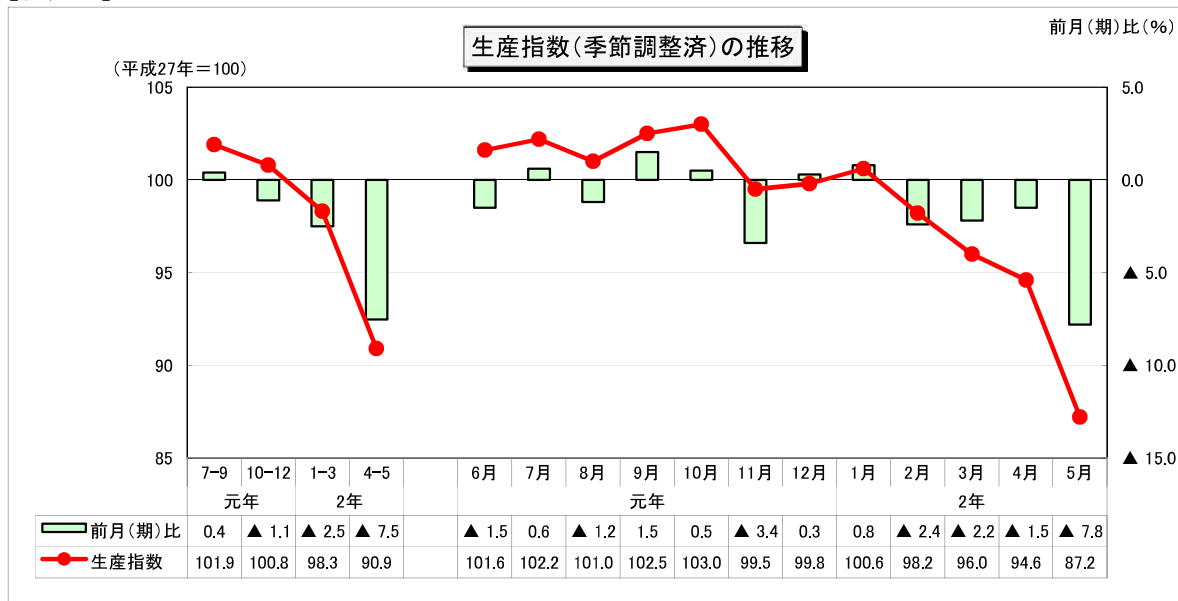


【総務省】

2. 生産活動

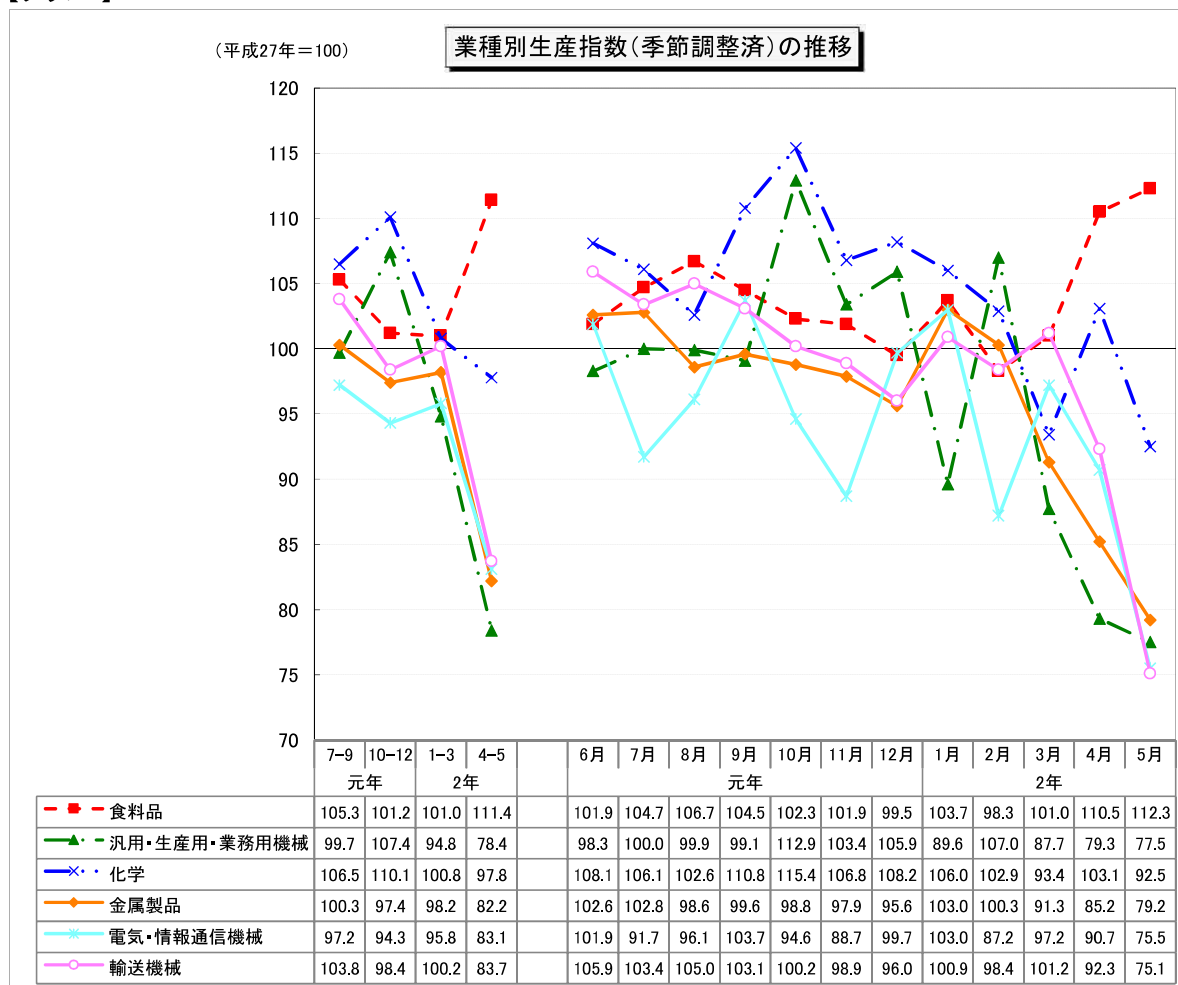
新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる

【グラフ5】



【新潟県】

【グラフ6】

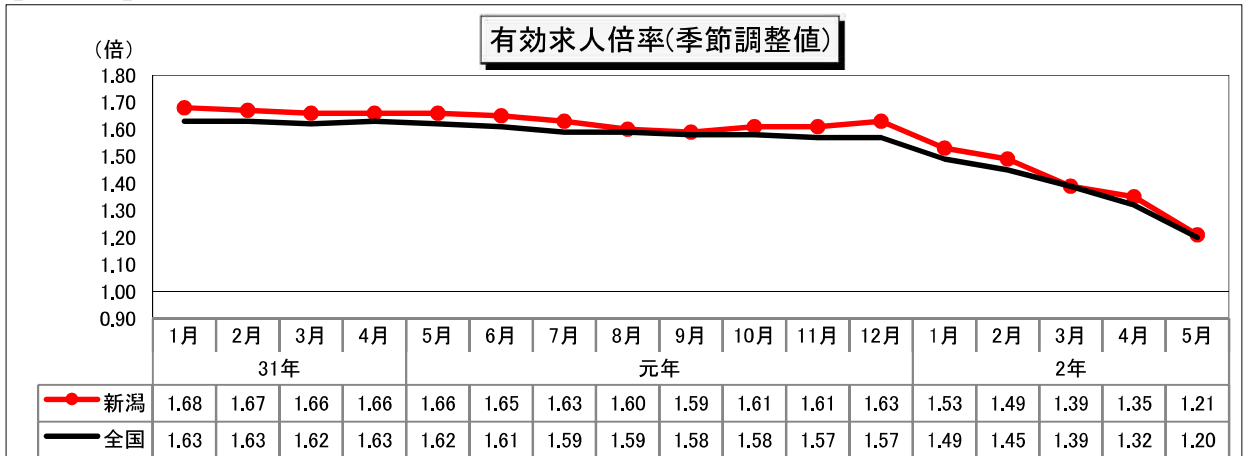


【新潟県】

3. 雇用情勢

新型コロナウイルス感染症の影響により、
弱い動きとなっている

【グラフ7】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

【グラフ8】



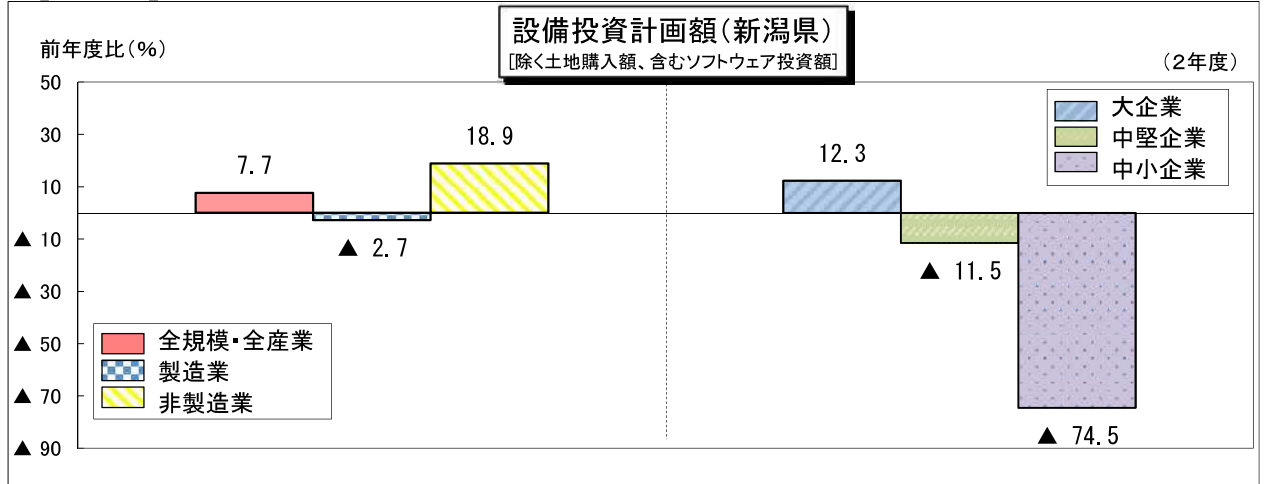
(注)パートを含む。

【厚生労働省】

4. 設備投資

2年度は増加見込みとなっている

【グラフ9】

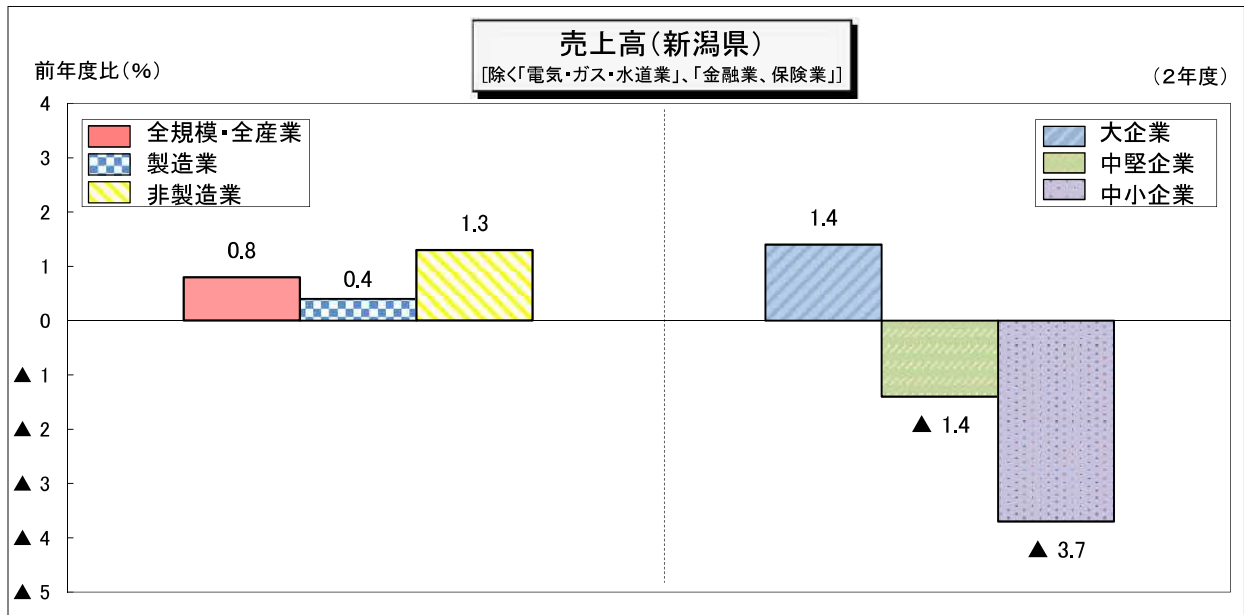


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

5. 企業収益

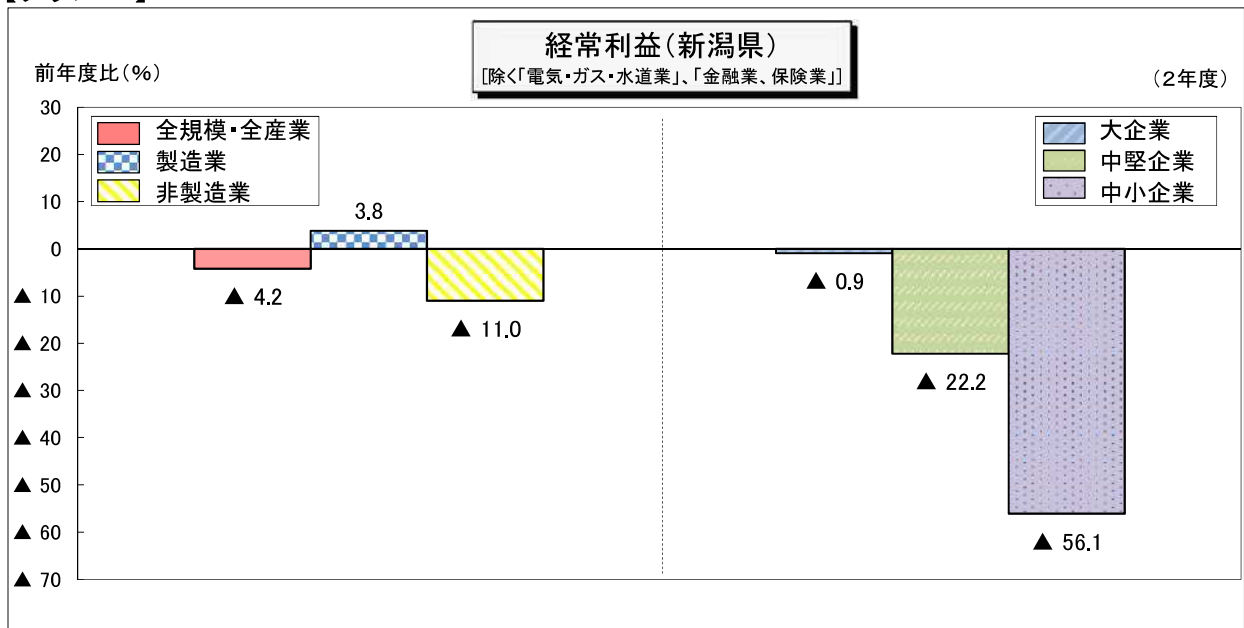
2年度は減益見込みとなっている

【グラフ10】



【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

【グラフ11】

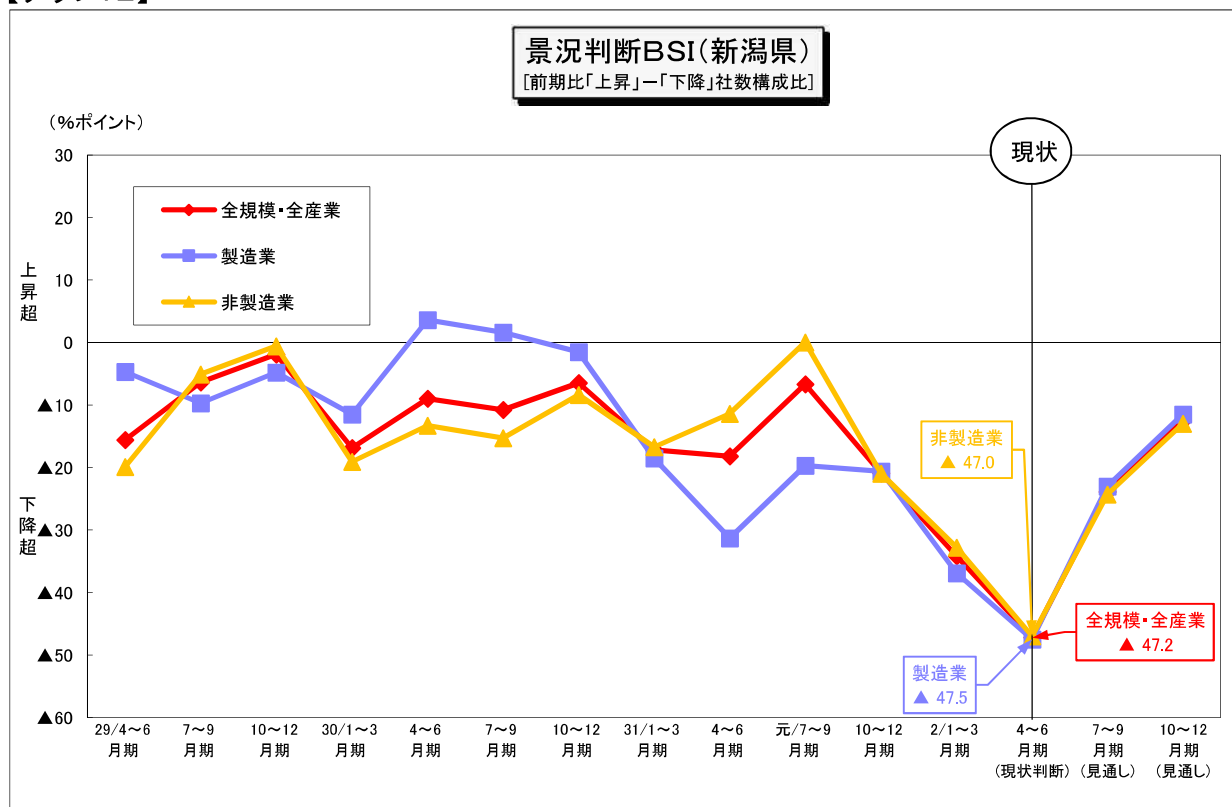


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

6. 企業の景況感

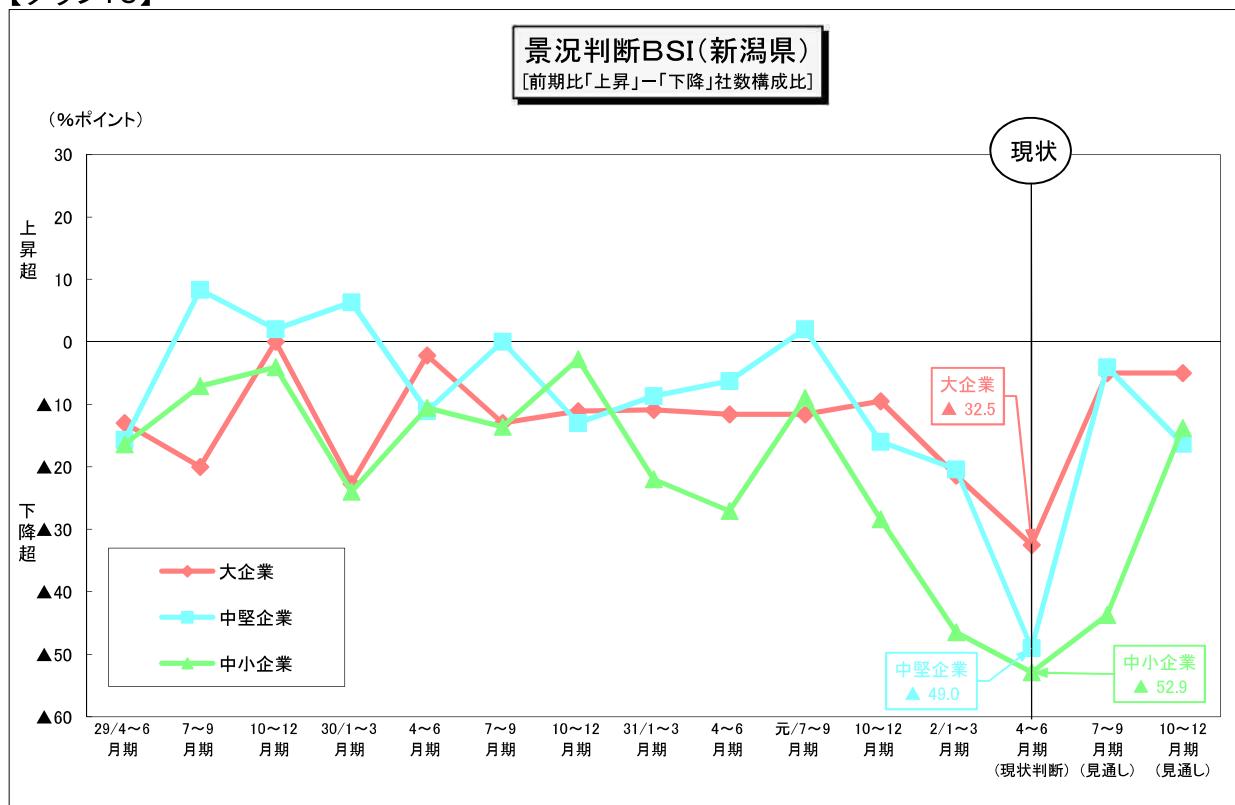
「下降」超幅が拡大している

【グラフ12】



【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

【グラフ13】

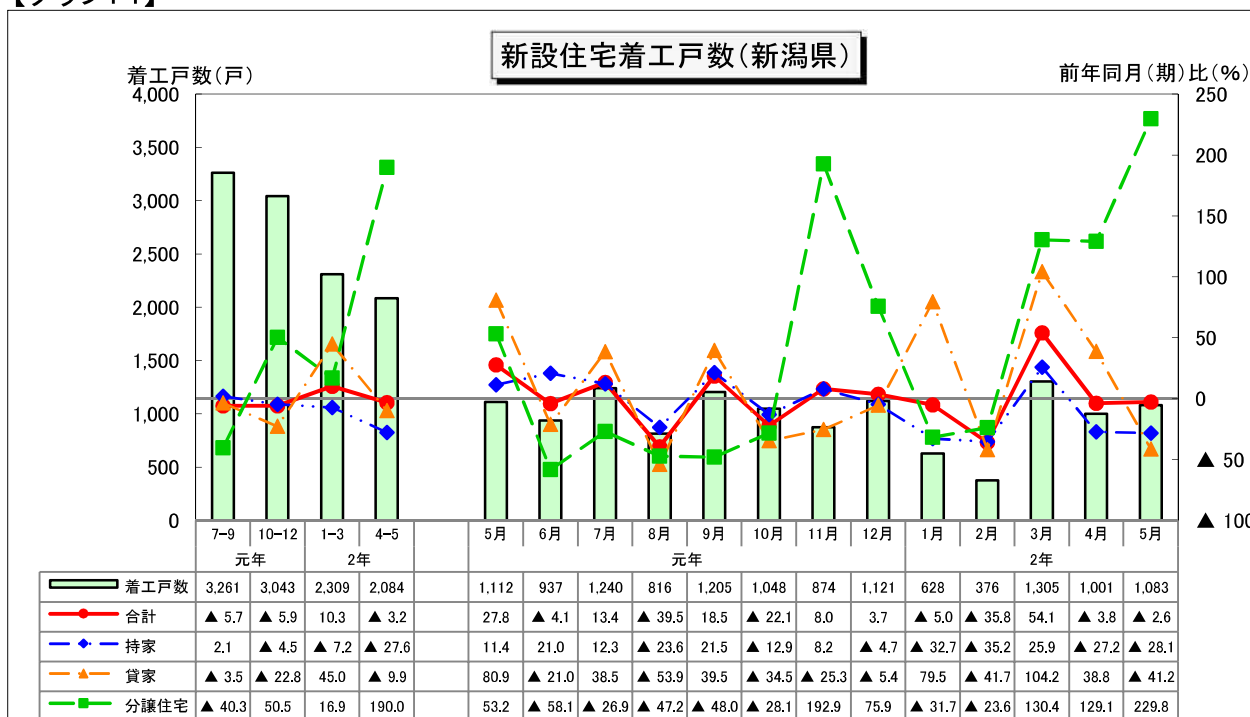


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

7. 住宅建設

前年を下回っている

【グラフ14】

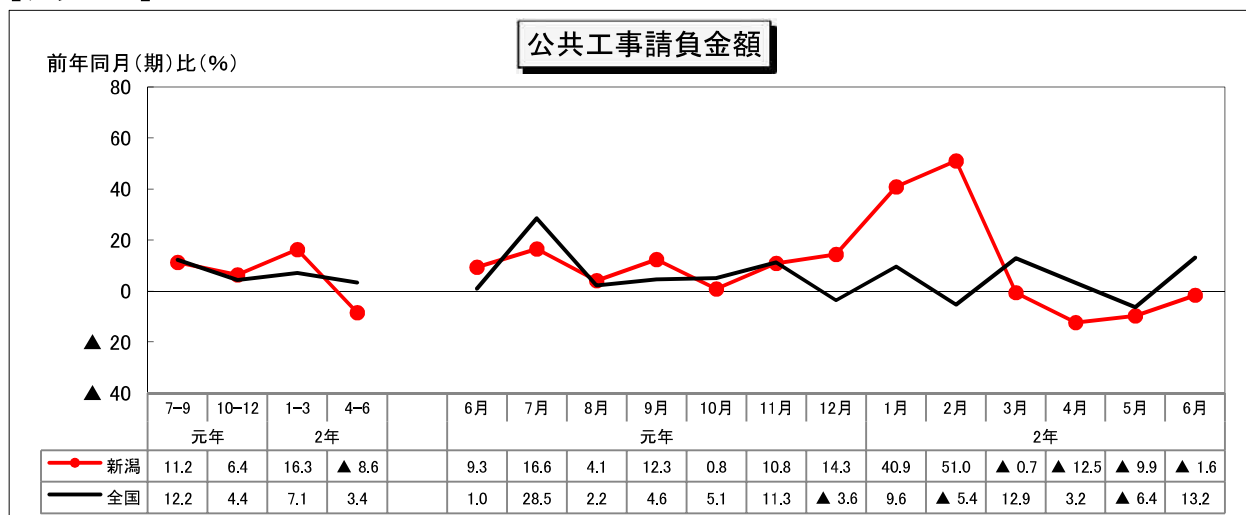


【国土交通省】

8. 公共事業

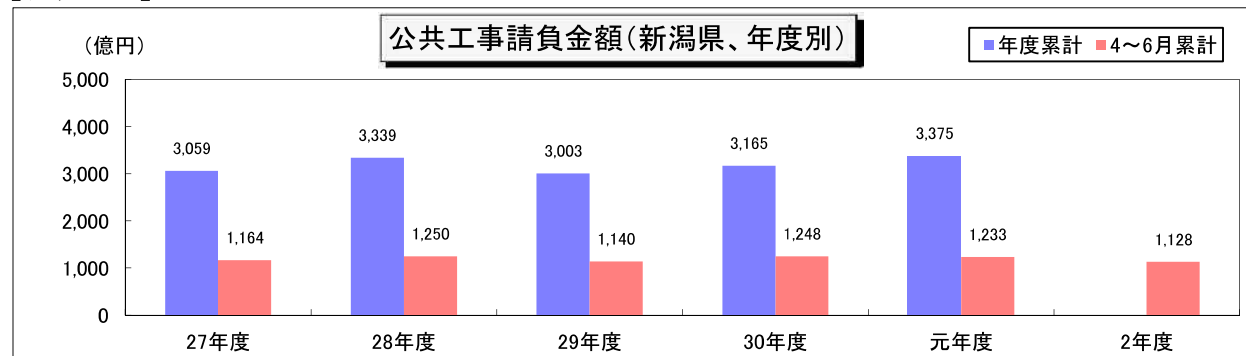
前年を下回っている

【グラフ15】



【北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)】

【グラフ16】

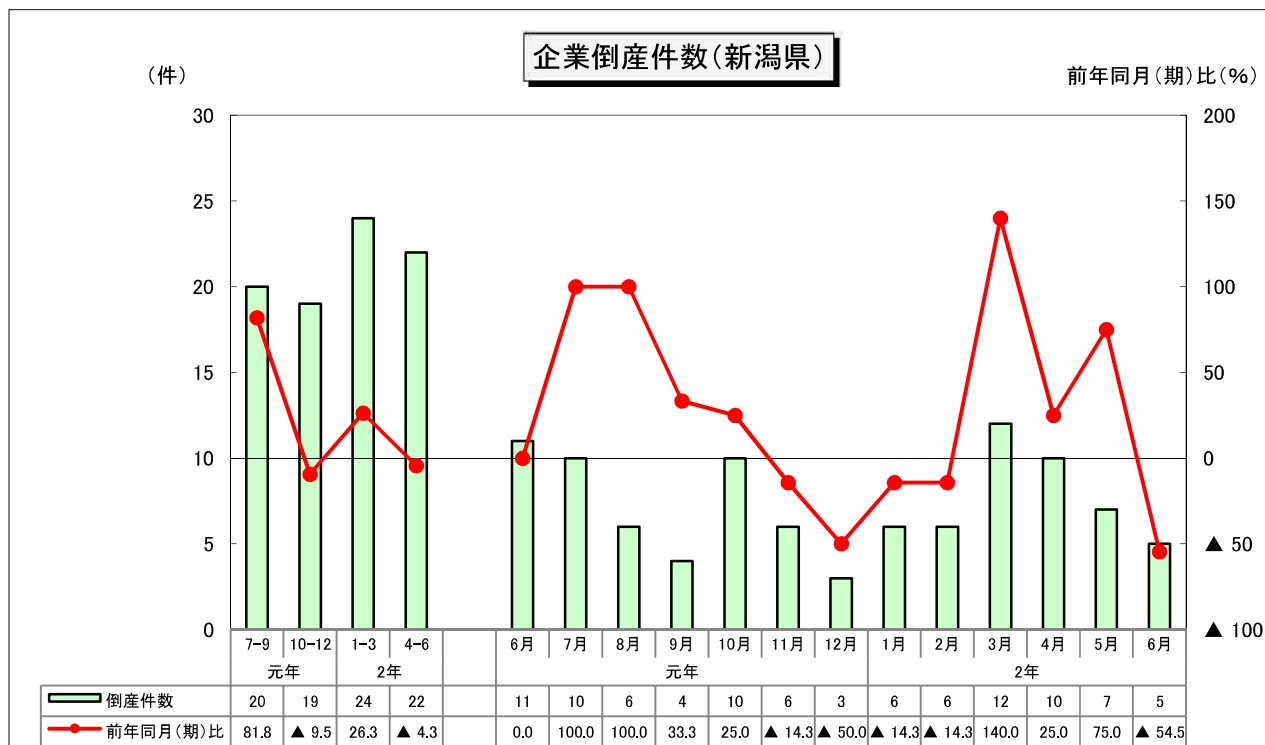


【北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)】

9. 企業倒産

倒産件数は前年を下回っている

【グラフ17】



【東京商工リサーチ】